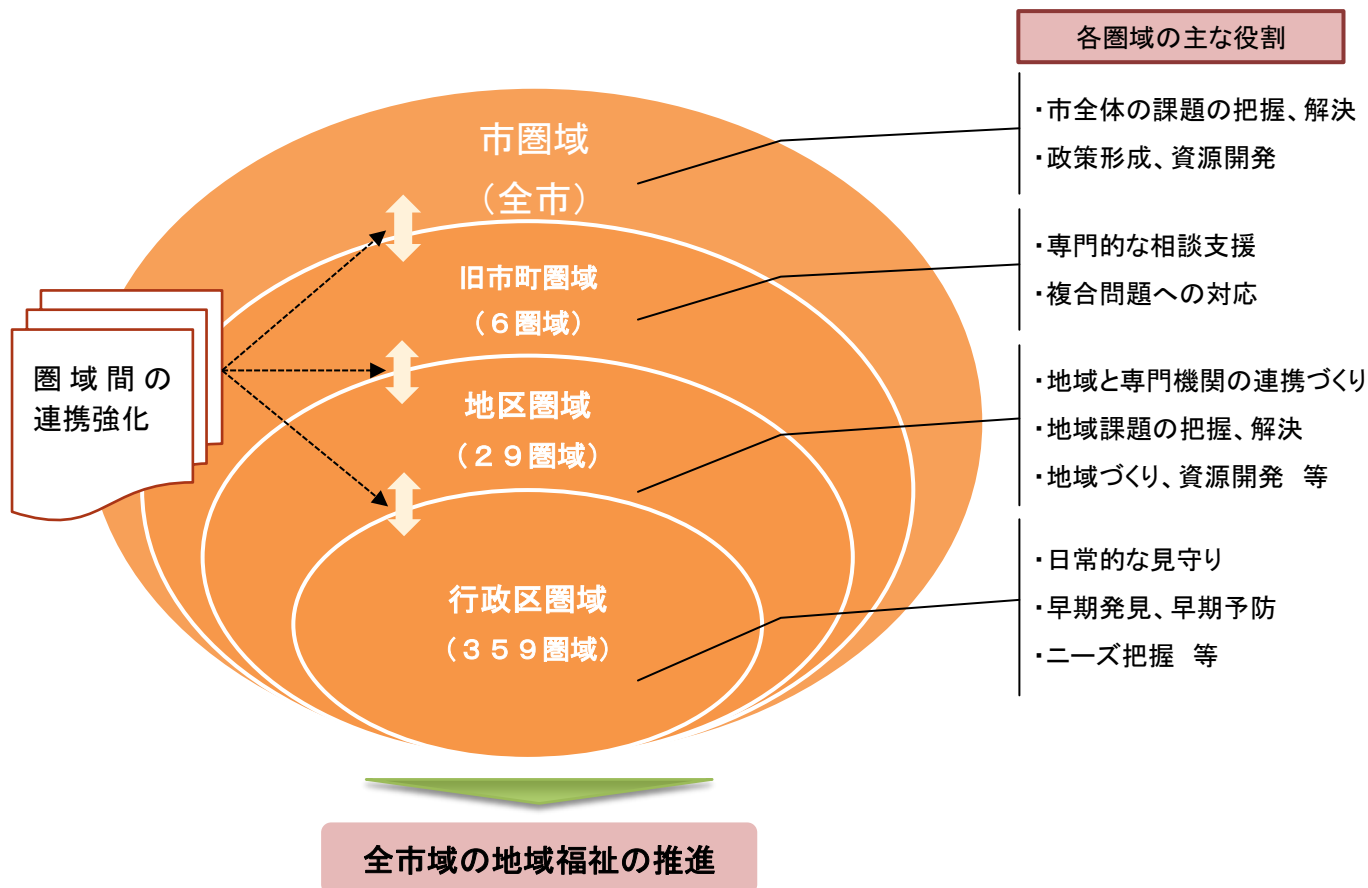


■ 連携・協働の仕組み・ネットワークにおける圏域

協働の仕組みやネットワークを構築するためには、各圏域における多様な主体が連携する話し合い・協議の場の活性化や連携の強化、また、圏域間の連携の強化が求められています。



【圏域(エリア)について】
 身近な課題は隣近所や行政区で解決し、難しい課題は地区や旧市町、市全体で解決する仕組みです。

【主な取組み】

住民等	<ul style="list-style-type: none"> ▶身近な場所で見守り活動に積極的に参加しましょう。 ▶地域の課題等を把握し、関係の窓口につなぎましょう。 ▶事業所は積極的に地域貢献活動に取り組みましょう。
市社協	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域づくりの専門職を配置し、住民と専門職等と協働するためのバックアップを行います。 ▶社会福祉法人等の連携構築につとめます。
市	<ul style="list-style-type: none"> ▶各課にまたがる課題の解決に取り組めます。 ▶地域の課題を市全体の課題として解決する仕組みづくりにつとめます。